

動物実験に関する検証結果報告書

大妻女子大学

平成 24 年 3 月

平成 24 年 3 月 14 日

大妻女子大学

学長代行 伊藤 朋恭 殿

貴機関における動物実験の体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

城西大学薬学部

徳留 嘉寛

対象機関： 大妻女子大学家政学部

申請年月日：平成 23 年 11 月 2 日

訪問調査年月日：平成 24 年 1 月 30 日

調査員：徳留嘉寛（城西大学）

#### 検証の総評

家政学部食物学科および被服学科において動物実験が行われているが、全て実験は千代田キャンパス内で行われている。家政学部動物実験委員会が組織され、それを統括する規程の策定、動物実験マニュアルの整備、教育訓練が行われている。また、全ての動物実験に関して実験計画書が提出され、その審査、承認、結果報告など基本的な実施体制が整備されている。また、学部動物実験委員会が定期的開催され、活動報告がなされている。

動物施設としては B 棟 9 階の動物実験室 I、II または B 棟 3 階の化学実験室で行われている。9 階動物実験室は空調、照明などを含め実験設備や環境が整備されており、良好な状態であると思われる。一方、3 階化学実験室は照明タイマーや空調、動物飼育に関して若干の改善点が望まれる。具体的には動物飼育に関してはアイソレーター設置や 24 時間稼働可能な空調システム、照明タイマーの設置、動物実験施設であることの表示などが望まれる。また、情報公開に関してはホームページなどを積極的に利用されたい。

総合的には若干の改善が望まれるものの動物実験における準備状況も優れ、良好な管理体制のもとに動物実験が適切に実施されている。今後はこれらの改善を望みたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針に則した内容が、「動物実験施設の整備及び管理の方法並びに具体的な実験の実施方法等を定めた規程（期間内規程）」として規程されている。このほかに大妻女子大学家政学部動物実験マニュアルが策定され、基本指針に適合した期間内規程が定められているとした自己点検・評価結果は妥当である。
3) 改善に向けた意見
特になし

#### 2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針に則した委員構成、役割をもつ動物実験委員会が設置されており、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 改善に向けた意見
特になし

### 3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針に則して、動物実験計画の立案、審査、承認結果報告の体制が整備されており、自己点検・評価の結果は妥当である
3) 改善に向けた意見 特になし

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 組み換え DNA 実験安全規程を整備する必要があり、「安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある」とした自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 改善に向けた意見 組み換え DNA 実験安全規程を整備する必要がある。

### 5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 機関内に実験動物の飼養施設が把握されており、適正な体制である。自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 改善に向けた意見

特になし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会は、実験計画の審査から、報告管理など期間内規程に定められた項目に関して実施されており、自己点検・評価の結果が妥当である。

3) 改善に向けた意見

特になし

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験のすべては、年度ごとに動物実験委員会により取りまとめられ、実験計画書の立案、審査、承認を経て実施されている。また、報告書に関しても提出され、適切に実施されている。自己点検・評価は妥当である。

3) 改善に向けた意見

特になし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験施設の整備及び管理の方法並びに具体的な実験の実施方法を定めた規程などに従い適切に行われている。但し、組み換え DNA 実験安全管理規程の設定がされておらず、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。を整備する必要がある」とした自己点検・評価は妥当である。
3) 改善に向けた意見 組み換え DNA 実験安全規程を整備する必要がある。

#### 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼育保管は適正に行われており、自己点検・評価は妥当である。
3) 改善に向けた意見 特になし

#### 5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験施設に関しては管理者（動物実験委員会委員長）によって管理されているが、設備面で一部改善を要する。飼養保管施設において表示、空調、汚染防止の改善が必要であるという、自己点検・評価は妥当である。
3) 改善に向けた意見 動物施設としては B 棟 9 階の動物実験室 I、II または B 棟 3 階の化学実験室で行われている。9 階動物実験室は空調、照明などを含め実験設備や環境が整備されており、良好な状態であると思われる。一方、3 階化学実験室は照明タイマーや空調、動物飼育に関して若干の改善点が望まれる。具体的には動物飼育に関してはアイソレーター設置や 24 時間稼働可能な空調システム、照明タイマーの設置などが望まれる。また、動物実験施設であることを示す表示が全ての動物実験室で必要である。これらの設備については、中長期的な計画をもって検討されたい。

## 6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針などに則した動物実験教育訓練が適正に実施されている。全ての資料の保存状況にも優れ評価できる。自己点検・評価は妥当である。
3) 改善に向けた意見 特になし

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験に関する自己評価・評価を行っているものの未公開の情報があるので、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある」という自己点検・評価の結果は妥当である
3) 改善に向けた意見 自己点検・評価の検証結果も含めて、情報公開を進められたい。その際には、情報公開場所の一つとして大学ホームページの活用も検討されたい。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

意見 該当なし
------------